

第9回北海道戯曲賞 大賞受賞作品

ここは、
サハリン。
近くて遠い、
街の、
家族の物語

photo: 後藤悠樹

チホクも
鳥の名前

И Чехов тоже
название птицы



Knit Cap Theater

ニットキャップシアター

第48回公演

日本とロシアに挟まれた島、サハリン島。

この島に「チェーホフ」と名付けられた街があるのをご存知でしょうか。

ロシア人、日本人、朝鮮人、「ニヴフ」や「アイヌ」などの北方民族――

この街に暮らした様々な人々が、

ときに国家間の思惑によって翻弄されながらも生活する様子を、

アントン・チェーホフや宮沢賢治ら、

かつてこの島を訪れた作家達の眼差しとともに辿ります。

サハリン島のある街と人々の暮らしを描いた、

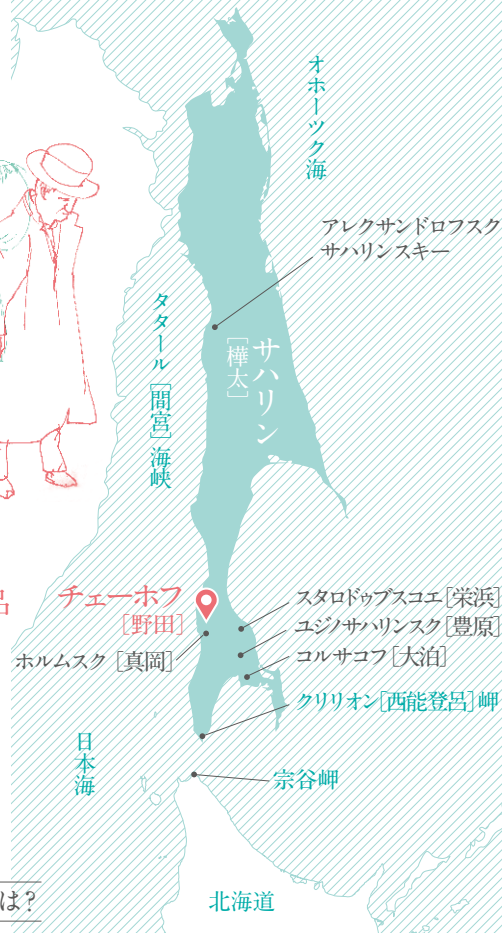
約100年のクロニクル。

「チェーホフも鳥の名前」は2019年に初演した作品です。私たちの本拠地京都では初めての上演です。

初演から7年がたち樺太／サハリンを取り巻く状況も変わり続けています。

今回の公演を通じてどんな発見があるのか、私たちも楽しみです。

終演後はロビーにおりますので、ぜひ喋りかけてくださいね。お待ちしております。―― ごまのはえ



第9回北海道戯曲賞 大賞受賞作品

2019年初演/

第64回岸田國士戯曲賞 最終候補作品

チェーホフ

野田

ホルムスク

真岡

スタロドブスコエ [栄浜]

ユジノサハリンスク [豊原]

コルサコフ [大泊]

クリリオン [西能登島] 岬

宗谷岬

日本海

北海道

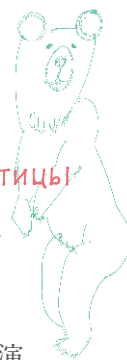
サハリンとは？

北海道の宗谷岬から約43km北にある島。

昔からたくさんの民族が、日本と大陸の双方と交流をもちながら暮らしていた。近代以前はどこの国にも所属していなかったが、ロシアのシベリア開拓や日本の近代化以降は、両国の国境地帯として何度も戦火にみまわれた。日本統治時代は、島の南側は「樺太」と呼ばれ多くの日本人や朝鮮人たちが暮らしていた。

終戦後は住民の多くが日本に引き揚げた一方で、国家間の様々な事情などによりサハリンに残留した人も多い。現在は「サハリン州」として事実上ロシア連邦に属しており、ロシア、朝鮮、日本、北方民族の人々が多文化的な生活を営んでいる。

チェーホフも鳥の名前



И Чехов тоже название птицы

ニットキャップシアター

第48回公演 | チェーホフも鳥の名前

作・演出

ごまのはえ

出演

門脇俊輔
澤村喜一郎
仲谷萌
西村貴治
山谷一也



石原菜々子
大路絢か
千田訓子
山岡美穂

パーカッション

田辺響

歌

黒木夏海

日時

2026年7月17日 [金] 18:00 開演

18日 [土] 14:00 開演★

19日 [日] 14:00 開演

チケット

[一般] 4,000円 [ユース・学生] 2,500円
[高校生以下] 1,000円 [ペア] 7,500円 (2名分)

※全席自由・日時指定券・税込 ※前売・当日共通料金
※ユースは25歳以下が対象
※ユース・学生券、高校生以下券は、当日受付で要証明書提示

チケット取扱

- ニットキャップシアター
<https://knitcap.corich.co/bird2026-kyoto/common>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (要事前登録)
- カンフェティ <http://confetti-web.com/@/bird2026> (要事前登録)
- 京都府立文化芸術会館窓口 ※一般券のみ取り扱い
TEL 075-222-1046 [9:00~18:00/臨時休館日あり(月2回)]

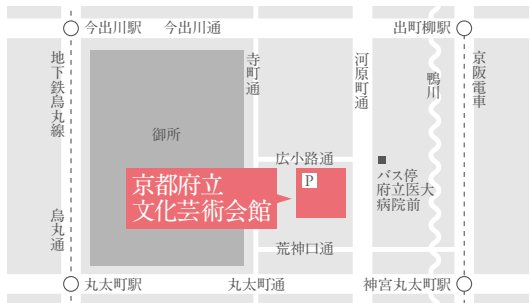
お問合せ

ニットキャップシアター
[メール] contact@knitcap.jp
[電話] 090-7118-3396 (劇団)

会場

京都府立文化芸術会館 ホール

〒602-0858 京都市上京区東桜町1 (河原町通広小路下ル)



- JR京都駅から…市バス「A2」から市バス4系統・7系統・205系統にて「府立医大病院前」下車スグ前。所要時間約25分。
- 阪急京都河原町駅から…市バス「G・F」のりばから3系統・4系統・7系統・205系統にて「府立医大病院前」下車スグ前。所要時間約10分。
- 三条京阪から…市バス「A3」から37系統、「A2」から59系統、にて「府立医大病院前」下車スグ前。所要時間約10分。
- 京阪神宮丸太町駅・出町柳駅から…それぞれ「出口3」より徒歩12分。出町柳駅からの場合は、市バス3系統・4系統・7系統、京都市バス41系統もご利用いただけます。「府立医大病院前」下車スグ前。

舞台監督=河村都(華婁)/照明=葛西健一/音響=三橋琢/映像=堀川高志(kutowans studio)、飯阪宗麻(NOLCA SOLCA Film)/写真協力=後藤悠樹/音楽協力=北航平/大道具=竹腰かなこ/衣装=清川敦子(atm)/小道具=仲谷萌/演出助手=小山裕暉/舞台監督助手=越賀はなこ/朝鮮語翻訳=徐義才/朝鮮語監修=金民樹(劇団タルオム)/ニヴフ語指導=白石英才(札幌学院大学)/岩手弁指導=劇団あす(花巻市)/絵=竹内まりの/宣伝美術=山口良太(slowcamp)/制作=門脇俊輔、澤村喜一郎、高田晴菜、山崎由菜、植村純子/協力=Kondaba、原脈、万博設計、合同会社いった/資料協力=一般社団法人全国樺太連盟、NPO法人日本サハリン協会
企画・製作・主催=一般社団法人毛帽子事務所、ニットキャップシアター/共催=指定管理者 創〔公財〕京都文化財団(株) コングレ共同事業体]

助成= 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

公演特設サイト
<https://knitcap.jp/bird2026/>

